

気軽に頼みたくなるSTの利用方法！



みつばさ訪問看護ステーション

言語聴覚士

松原 昌也

※趣味:料理



寄り添う気持ちで…

私は可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける事ができるよう、地域の包括的な支援の一端を担っていきたくと考えています。
話すことや食べることは当たり前だからこそ様々な葛藤があります。そこに寄り添って支援していけるよう頑張ります。

＼お気軽にご相談ください。／



0265-49-0732

(受付対応時間 8:30~17:30)



0265-49-0733



みつばさ訪問看護ステーション

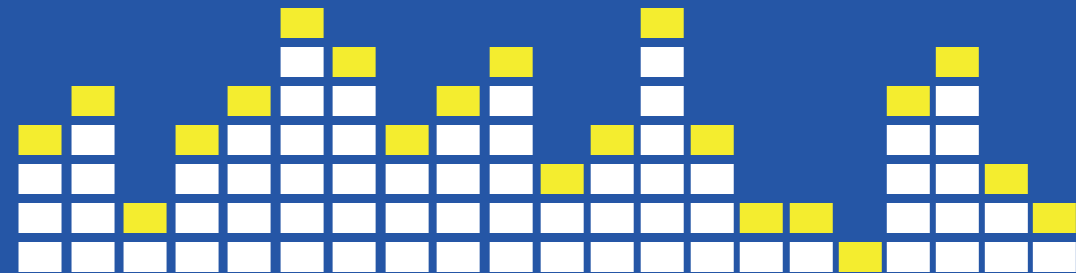
〒395-0806 飯田市鼎上山3800-5-2
Tel:0265-49-0732 Fax:0265-49-0733



みつばさ

(言語聴覚士)

STの取扱説明書 



言語聴覚士の仕事って？



言語聴覚士は、**コミュニケーション**、**食事**のスペシャリスト！
脳卒中後遺症や、加齢などによって機能が損なわれてしまうことがあります。
これらの症状に対して専門的なアプローチを行うことで少しずつ改善し、**自分らしい生活が送れるよう支援**するのが言語聴覚士の役割です。

主な症状

- **言葉**に関する症状……構音障害、失語症、認知症等
- **食事**に関する症状……嚥下障害等

地域包括ケアと言語聴覚士

地域行事、趣味や、おけいこ事等を続けていくうえで加齢や脳卒中後遺症によって話しにくいなどコミュニケーションが取りにくくなっている方に対し、言語聴覚士が専門的にアプローチすることで在宅・地域での連携がとりやすく、生活の質が維持されやすくなります。



訪問リハでの言語聴覚士の魅力



- ✓ 住み慣れたご自宅でリハビリをすることができます。
- ✓ どのように過ごしてきたかを直接知ることによって、その人に寄り添って支援することができます。
- ✓ 生活で困っている内容が知れるため具体的に対応策の提案をすることができます。
- ✓ 時間の許す限り沢山お話ができます。

このようなお悩みありませんか？

●最近ムセることが増えてきて心配…



どんな場面でムセが多いかなど、実際に食べている所を見ながらムセにくい姿勢や、食事の形態について提案させていただきます。

●とろみの加減で悩んでいる。



実際に召し上がっている食事や、様子を見させていただき、必要に応じて助言や提案をさせていただきます。

●話がかみ合わなくなってきた。



コミュニケーションが取りにくい理由にもよりますが、円滑に行える方法について親身に考えていきます。

●もっと上手く話せるようになりたい。



脳卒中後遺症後の呂律の回りにくさであれば、専門的なリハビリを通して機能回復を目指し、社会交流の機会を広げられるように努めます。

●口臭や、口の汚れが気になる。



義歯の手入れの仕方や、痛みが出ない方法での口腔ケアの仕方について提案させていただきます。

身近で上記の症状にお困りの方がおられましたら
お気軽にご相談ください。



0265-49-0732

(受付対応時間 8:30~17:30)



0265-49-0733